

授業科目名	発達と学習の心理学 A, B	担当形態	単独		
		開講学期	春・秋		
担当教員	高橋 彩	単位	2	年次	3

＝授業のテーマ及び到達目標＝

ひとの各発達段階における心理的特性と学習の過程について、基礎的な知識を身につける。発達心理学、教育心理学を中心に、心理学の様々な分野における基本的な概念も習得することを目的とする。

＝履修の条件と学習の方法＝

心理学の主要テーマについて講義する。教科書を中心として、必要な部分は配布資料を利用する。欠席した場合は次の授業時に配布資料の有無を確認すること。予習として、次の講義で扱われる章を読んで、質問をまとめてくること（120分）。授業後の復習は、授業内の課題について、指定教科書以外の資料をしらべること（60分）。

＝授業の概要＝

人間の生涯にわたる心理的、行動的变化と、その発達を規定する要因について学ぶ。

また、発達と学習の効果を考える上で、基本的な概念となる学習理論、記憶、知覚、動機づけ等の人間の情報処理の仕組みについても解説する。

＝授業計画＝

- 1回 心理学とは
- 2回 感覚と知覚 刺激閾 視覚 形の知覚 恒常性 注意
- 3回 学習（1） 古典的条件付け（レスポナント条件付け）
- 4回 学習（2） オペラント条件付け 強化スケジュール 観察学習
- 5回 記憶（1） 記憶の二重貯蔵モデル ワーキングモデル 長期記憶
- 6回 記憶（2） 記憶の変容 プライミング
- 7回 知能（1） 知能の構造 知能検査
- 8回 個人差 行動遺伝学 パーソナリティ
- 9回 欲求（1） 外発的動機づけ 内発的動機づけ アンダーマイニング
- 10回 欲求（2） 原因帰属
- 11回 発達（1） ピアジェの認知発達理論
- 12回 発達（2） エリクソンの心理社会的発達理論
- 13回 発達（3） 感情の発達 愛着 道徳性
- 14回 社会 対人認知 ステレオタイプ
- 15回 発達障害と支援 自閉スペクトラム 学習障害

定期試験

＝テキスト（必携）＝

芝垣正光・目黒達哉（編） 現代心理学の基礎と応用—人間理解と対人援助— 樹村房 2200円＋税
（テキストは授業で使用するので、毎回持参すること。）

＝参考書・参考資料（必携）＝

西村純一・井森澄江編 教育心理学エッセンシャルズ〔第2版〕ナカニシヤ出版
藤村宣之 編著 2009 いちばんはじめに読む心理学の本 発達心理学 ミネルヴァ書房

＝成績評価の方法と評価の基準＝

定期試験（70%）、授業中の課題の内容や取り組み（30%）で評価する。

=その他=